

健(検)診から健康経営まで、健康づくりに本会が協力したお客様を紹介するシリーズです

チームよぼうが応援します!

第4回 田島ルーフィング株式会社様

今年創業100周年を迎えた建築用防水材と床材の老舗メーカー、田島ルーフィング株式会社様。定期健康診断や保健相談をはじめ、がん検診、健康教室等でも本会をご利用いただいています。



右から田島ルーフィング株式会社 生産本部本部事務課課長の白石正則さん、総務部業務支援課の福留君恵さん

社員が生き生き働けるよう トップダウンで健康づくりを展開

1919年に創業した田島ルーフィング株式会社は、高い技術力を誇る防水材と床材の建材メーカーとして知られ、現在、防水材の国内シェアではトップを占めている。

従業員約13000人の健康づくりを切り盛りする生産本部本部事務課課長の白石正則さんと総務部業務支援課の福留君恵さんに話をうかがった。

業所は、28カ所中11カ所。約9500人の社員が受診しています。一昨年から新たな「安全衛生管理委員会」を立ち上げました。新たな委員会は、全社横断的に、しかも部長、工場長、課長といった安全推進クラスを務めています。2カ月ごとに開催されるこの委員会が、当社の安全と健康管理施策の決定機関です。そしてその検討の場でわれわれ健康管理担当者が発信した情報は、トップダウンで社員にしっかりと行き渡るようになってい

多様な取り組みを、どのような体制で展開しておられるのでしょうか。白石：当社の企業理念の中に、「社員が生き生きと働ける安定性」とあります。私たち健康管理担当者は社員の健康を守るために健康づくりに積極的に取り組んでいます。2014年に、床材事業を展開していたグループ企業の株式会社タジマと統合したことで、社員

数が500人から一挙に倍に増えました。これを機に、各事業所で健診医療機関を1カ所に絞ることを実施しました。東京都予防医学協会を受診する事

定期健診後のフォローアップ 保健相談を実施

健(検)診後の事後指導についてはいかがですか。

福留：精検受診の時にも交通費を支給したり、職場で業務に配慮するなどし

て受診しやすい環境をつくるようにしています。精検受診率100%をめざす活動をするので、健診後のフォロー体制に力を入れ始めました。産業医の柴崎敏昭先生には、定期健診の結果を全部見てもらい、要精検などの対象者一人ひとりにコメントを書いていただいています。そうした結果

を受け取ると本人も精検受診に対する意識が高まるようで、このやり方に手応えを感じています。定期健診後の保健相談にも力を入れていってほしいですね。福留：保健相談の対象者は、春の定期健診の結果を見て、メタボリックシンドロームの基準に準ずる人を選抜しています。昨年からはさらに「喫煙者」も対象者に加え、タバコに関する指導も同時にお願ひしています。

健康づくりをさらに充実させるために

東京都の「職域連携がん対策支援事業」で、平成28年度の「優良賞」を受賞されました。

白石：以前から胃がん、肺がん、大腸がん検診は実施していましたが、女性社員が少なかつたこともあり、乳がんや子宮頸がん検診には未対応でした。そんな折、協会の方にすすめられて東京都のがん対策支援事業に参加し、これをきっかけに女性のがん検診を充実させることができました。ちょうど株式会社タジマとの統合などで女性社員が増えてきた時期に、乳がんと子宮頸がんの検診を導入できたのは大きな実績だと思っています。

今後はどのような取り組みをお考えですか。白石：今年には新入社員研修で、アルコ

定期健康診断・保健相談 事業所への出張 編

実施した内容 定期健康診断、保健相談

- ☆事前準備(2~3月)
日程の調整、資材の準備
- ☆定期健診を実施(4~6月)
各事業所で定期健康診断を実施

☆アフターフォロー

- ・健診結果を送付
- ・要精密検査等を伝達し、受診勧奨

〈精密検査〉

本会保健会館クリニックで精密検査をお受けいただけます。専門医が担当していますので、安心してご受診ください。紹介が必要な場合は、速やかに連携している専門医療機関をご紹介します。

・保健相談対象者を選抜し、相談を実施

〈保健相談〉

対象者に個別の保健相談を実施します。相談では、健診結果の見方、経年変化を踏まえた現状の確認、改善のための方法等をお話します。また、喫煙者には禁煙指導を行います。

- ・保健相談終了後は事業所ごとの傾向をまとめて改善策をご提案



番外編：新入社員研修でのアルコール体質検査の様子

ール体質検査を実施しました。検査結果(体質)は生涯変わらないとのことなので、社会人になったタイミングでチェックをしてアルコールとのつきあいを考えてもらえればと思いました。飲めない体質だとわかれば、「飲めません」と言えますので、本人のためにもなる検査だと感じています。

今後はランチョンセミナーの実施を考えています。食生活に問題のある社員が多いので、管理職研修の際などにも取り入れていきたいです。福留：社員がますます増えているので、健康管理体制を整えつつ、政令等の改訂にも目を配り、情報収集しながらがんばっていきます。



100周年記念社員旅行
社員交流プログラムでの
一コマ

